

たしかめ

┆

名前

1

きゆうに テレビの がぞうが 乱れた。

2

しっぱいの けいけんを へて せいちようする。

3

あいじよう 豊<sup>ゆた</sup>かで なさけぶかい ナイチンゲール。

4

ぞうの はな、ながくて つよいと いう いんしょう。

5

いきも たえだえ、ぜったいぜつめい。

たしかめ 1

5	4	3	2	1
絶	象	情	経	像
息も絶え絶え、絶体絶命。	象の鼻、長くて強いという印象。	愛情豊かで情け深いナイチンゲール。	失敗の経験を経て成長する。	急にテレビの画像が乱れた。 <small>みだ</small>

6

おんこうでにんじょうにあつい私の祖<sup>そ</sup>ふ。

7

がっしょうコンクールでぎんしょうになる。

8

がっきゅうの現<sup>げん</sup>じょうとかだいをかながえる。

9

吉<sup>よし</sup>もとしんき劇<sup>げき</sup>のチケットをもらってよろこぶ。

10

もんだい与时かたをかいせつしてもらおう。

たしかめ 2

10	9	8	7	6
解	喜	状	賞	厚
問題の解き方を解説してもらおう。	吉本新喜劇 <small>よしげき</small> のチケットをもらって喜ぶ。	学級の現状と課題を考える。	合唱コンクールで銀賞になる。	温厚で人情に厚い私の祖父 <small>わたし</small> 。

11	

11 | ものがたりのないようをはなして きかせる。

12	

12 | 難しいわざを演えんぎにくみこ込み きんメダル。

13	

13 | こうどなきじゆつで ロケットをつくる。

14	

14 | ことばをてきせつに えらんで はなす。

15	

15 | にどと しっぱいは ゆるされない。

15	14	13	12	11
許	適	術	技	容
二度と失敗は許されない。	言葉を適切に選んで話す。	高度な技術でロケットを作る。	難しい技を演技に組み込み込み金メダル。	物語の内容を話して聞かせる。

16

このさきはきよか  
がなければはいれません。

17

ふくすうのめで  
チェックする。

18

えきのこうないで  
犯はんにんをまちかまえる  
刑けいじ。

19

こうていのさくらも  
咲さいてしんがつき。

20

うえのえきに  
ハチこうの  
どうぞうがある。

たしかめ 4

20	19	18	17	16
銅	桜	構	複	可
上野駅に八千公の銅像がある。	校庭の桜も咲いて新学期。	駅の構内で犯人を待ち構える刑事。	複数の目でチェックする。	この先は許可が無ければ入れません。



たしかめ 5

25	24	23	22	21
停	眼	復	修	破
バスの停車するところが停留所。	眼球を傷つけ、眼科に行く。	学校で習ったことを家で復習する。	学問を修め、技術を修得する。	窓が破られ破片が散乱している。



たしかめ 6

30	29	28	27	26
易	貿	備	準	祖
こんな問題、易しいよ。	海外との貿易が盛んな日本。	緊急の事態に備え非常袋を準備する。	走る前に準備運動をする。	自分が生まれた国が祖国。



35	34	33	32	31
告	報	質	潔	際
「告げ口はやめよう。」と友に忠告。	実験成功の報告。苦勞が報われる。	分からないことは積極的に質問しよう。	清潔な身なりをしている。	これは実際にあった話です。



40	39	38	37	36
造	因	識	確	属
船を造るところが造船所。	火事の原因は、たばこの火だった。	聞き手を意識しながら話す。	確実に注文どおりか確かめた。	金・銀・鉄・銅などの金属。

41

41

はにはわふくがよくにあう。

42

42

かぎられたものしかはいれぬようにゆうじょう<sup>せい</sup>制げん。

43

43

バスがていりゆうじよにとまっている。

44

44

こうじげんばからむかしのどきがあらわれた。

45

45

たいふうがきゆうしゆうちほうにせっきんちゆう。

45	44	43	42	41
接	現	留	限	似
台風が九州地方に接近中。	工事現場から昔の土器が現れた。	バスが停留所に留まっている。	限られた者しか入れぬよう入場制限。	母には和服がよく似合う。

46


46

おう援えんにこたえてぜんりよくでプレーする。

47


47

たいふうのせいりよくがつよまり猛烈もうれつないきおいのかぜだ。

48


48

ちゅうごくでだいにのおおきなかわ「こうが」。

49


49

じんるいのれきしをたどればもとはサル。

50


50

しじょうさいだいの<sup>が</sup>おお型がたどうじゅうは<sup>き</sup>恐竜おそろいりゆう。

50	49	48	47	46
史	歴	河	勢	応
史上最大の大型動物は恐竜。 <small>きょうりゆう</small>	人類の歴史をたどれば元はサル。	中国で第二の大きな河「黄河」。	台風の勢力が強まり猛烈な勢いの風だ。 <small>もうれつ</small>	応援に <sup>えん</sup> 応えて全力でプレーする。



55	54	53	52	51
序	常	句	招	幹
順序よく並 <small>なら</small> んで待つ。	一年中、常に緑の葉だから常緑樹 <small>じゆ</small> 。	文句を言わずに手伝ってね。	パーティーに招く友への招待状。	木の幹のように日本を貫 <small>ぬ</small> く新幹線。



60	59	58	57	56
性	査	資	士	武
実験が成功する可能性は高い。	事実かどうか調査をする。	米の生産量を資料集で調べる。	将来 <small>しやう</small> の夢は電車の運転士。	武器を持って戦う。

61

61

つねに  
あらず。いつもと違ちがうことが「ひじょう」。

62

62

そうごうてきなかくしゅうのじかんはたのしい。

63

63

たいじゅうやしんちょうをはかるしんたいそくてい。

64

64

このえきしゃはたいしょうじだいのたてものだ。

65

65

あんないじょう、おうふくはがきでだしました。

65	64	63	62	61
往	舎	測	総	非
案内状、往復葉書で出しました。	この駅舎は大正時代の建物だ。	体重や身長を測る身体測定。	総合的な学習の時間は楽しい。	常に非 <sup>ち</sup> ず。いつもと違 <sup>ちが</sup> うことが「非常」。



70	69	68	67	66
謝	製	肥	刊	演
謝罪とは「ごめんなさい」と謝ること。	石油からいろんな製品が製造される。	よく肥えて肥料もいらぬ良い畑。	新聞の朝刊を読むお父さん。	公園で人形劇 <small>げき</small> の公演を見た。

71

みずからの犯おかしたつみを認みとめ、しやざいする。

72

うまがあばれてみちをぼうそう。

73

おおなみをふせぐ堤つみがぼうは堤てい。

74

てつのげんりようとなるてつこうせき。

75

どりよくしたおかげでせいせきがあがった。

75	74	73	72	71
績	鉦	防	暴	罪
努力したおかげで成績が上がった。	鉄の原料となる鉄鉦石。	大波を防ぐ堤 <small>つみ</small> が防波堤 <small>てい</small> 。	馬が暴れて道を暴走。	自らの犯した罪を認め、謝罪する。

76

76

こころざしをたかくもとう。しょうねんよたいしを<sup>いだ</sup>抱け。

77

77

こうくうびんでもつをおくる。

78

78

どりよくはむちゅうにかてない。

79

79

げん稿<sup>こう</sup>をへんしゅうしてがつきゅうぶんしゅうをあむ。

80

80

けわしいやまみち、<sup>き</sup>危けんなところは<sup>さ</sup>避けてとおる。

80	79	78	77	76
険	編	夢	航	志
険しい山道、危険な所は避けて通る。	原稿を編集して学級文集を編む。	水中を夢中で泳ぐ夢を見た。	航空便で荷物を送る。	志を高く持とう。少年よ大志を抱け。

81

よくないと ほんだんしたら きつぱり ことわれ。

82

こっきょうは、くにとくにとの さかいです。

83

ひじょうじたいに そなえて てん検けんする。

84

ながれに さからい、ぎやくほうこうに ふねを こぐ。

85

はんていの けっか、ゴールは む効こう。

86

ていきあつが ちかづき あめが 降ふりだす。

86	85	84	83	82	81
圧	判	逆	態	境	断
低気圧が近づき雨が降り出す。	判定の結果、ゴールは無効。	流れに逆らい、逆方向に船をこぐ。	非常事態に備えて点検する。	国境は、国と国との境です。	良くないと判断したらきっぱり断れ。

86

86

しょうをえとて ときいになつてゐる 僕のあに。

87

87

いごちのいいとかにてんきよする 若もの。

88

88

えんそくのおべんとうのなかみはおにぎり。

88	87	86
弁	居	得
遠足のお弁当の中身はおにぎり。	居心地のいい都会に転居する若者。 <small>わか</small>	賞を得て得意になっている僕 <small>ぼく</small> の兄。